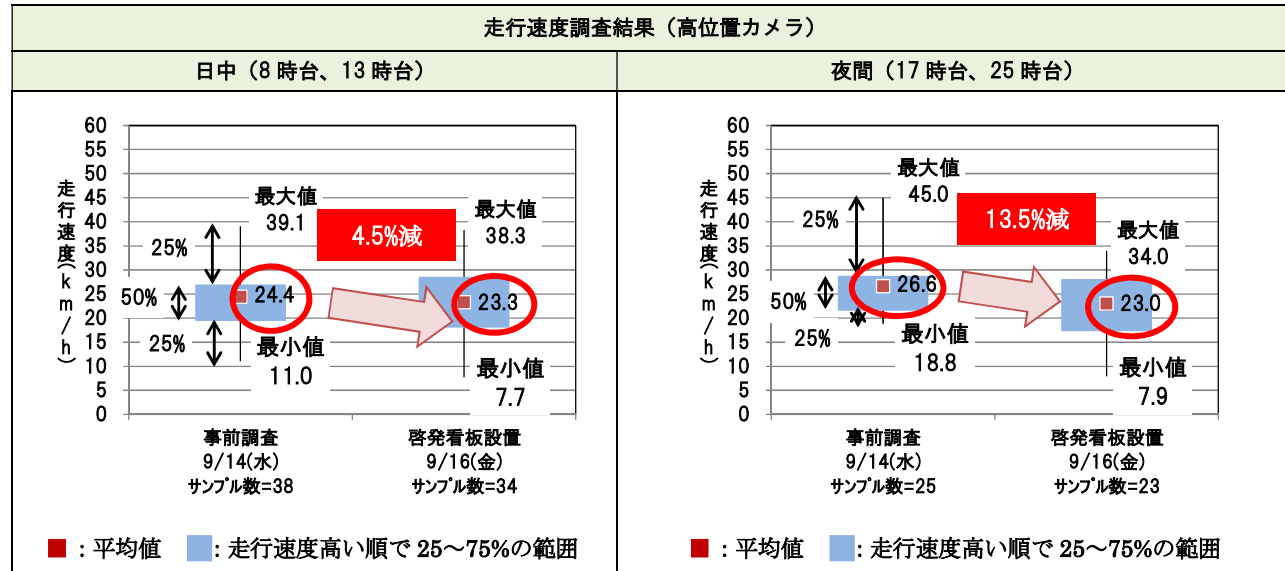


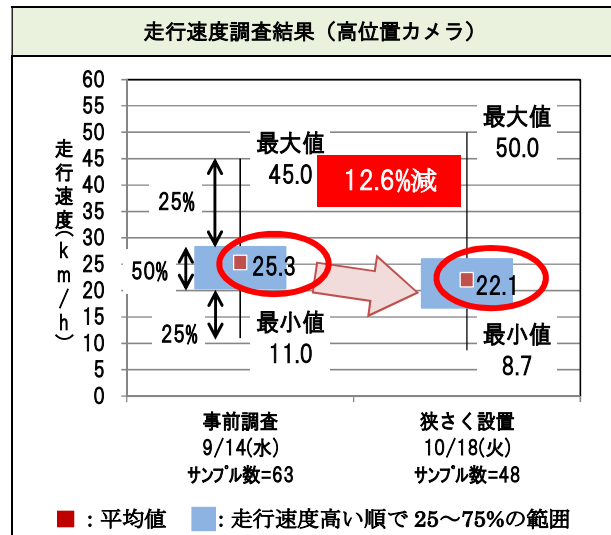


吉敷町2丁目における実験結果

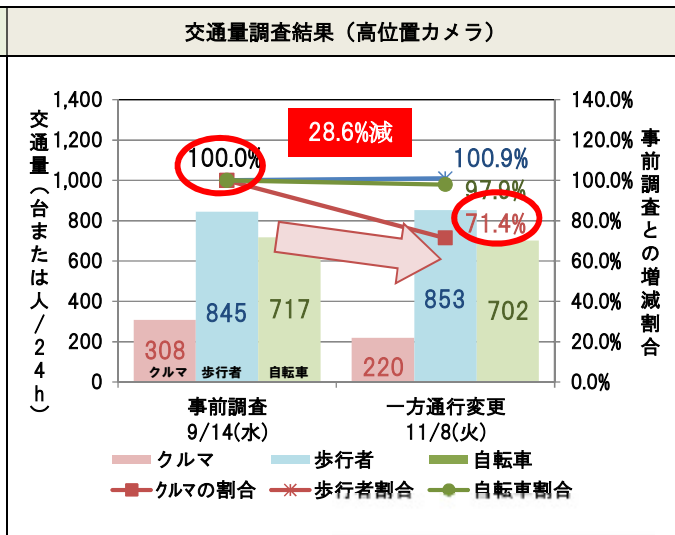
啓発看板(e)について



狭さく(d)について



一方通行規制変更について



吉敷町2丁目では、啓発看板の夜間の時間帯や狭さくについて速度抑制の効果がありませんでした。また、一方通行の規制変更にもともなう交通量の減少効果もあったことがわかりました。

次号では、先日皆さんからご回答をいただいたアンケート調査結果について紹介します。

▼▼さいたま市ホームページで検討協議会の資料や議事要旨を公開しています。▼▼▼

トップページ > 市政情報 > 情報公開の総合的な推進  
 > 情報提供 > 付属機関及び協議会等 > 付属機関及び協議会等の開催結果  
 > 都市局 > 氷川参道歩行者専用化検討協議会について

歩行者専用化

検索

【発行元】さいたま市 都市局 都心整備部 都心整備課 氷川参道対策室 (大宮区役所東館2階)



さいたま市

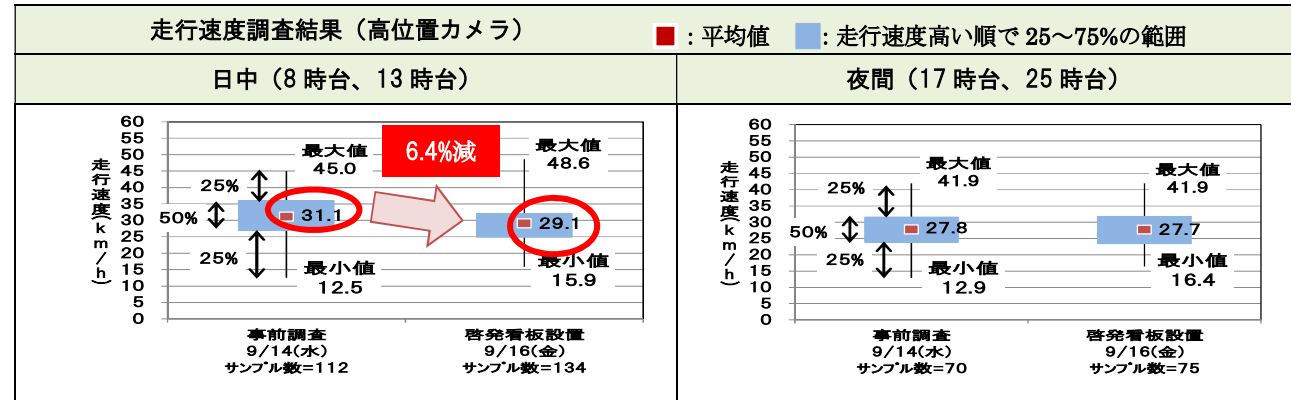
電話番号 048-646-3122  
 FAX 048-646-3123  
 Email hikawasando-taisaku@city.saitama.lg.jp



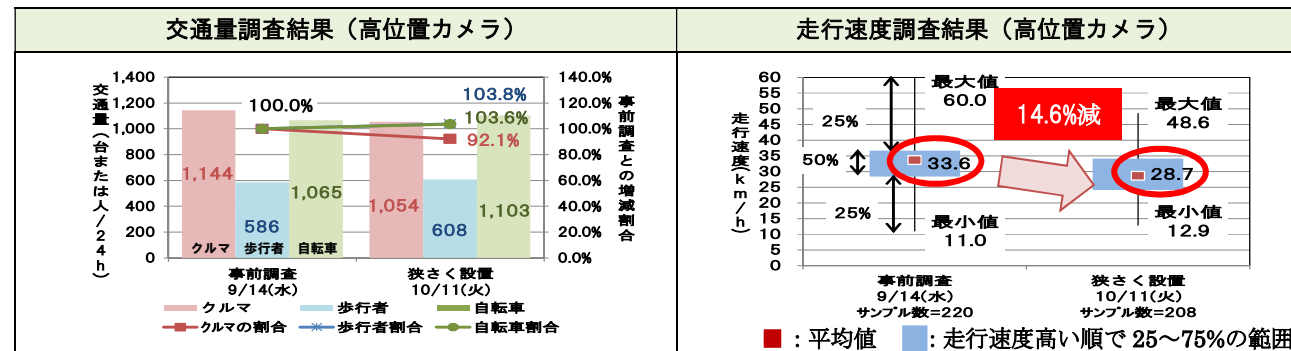
図 実験実施位置図

# 東町1丁目、浅間町1, 2丁目の生活道路における実験結果

## 啓発看板(b)について



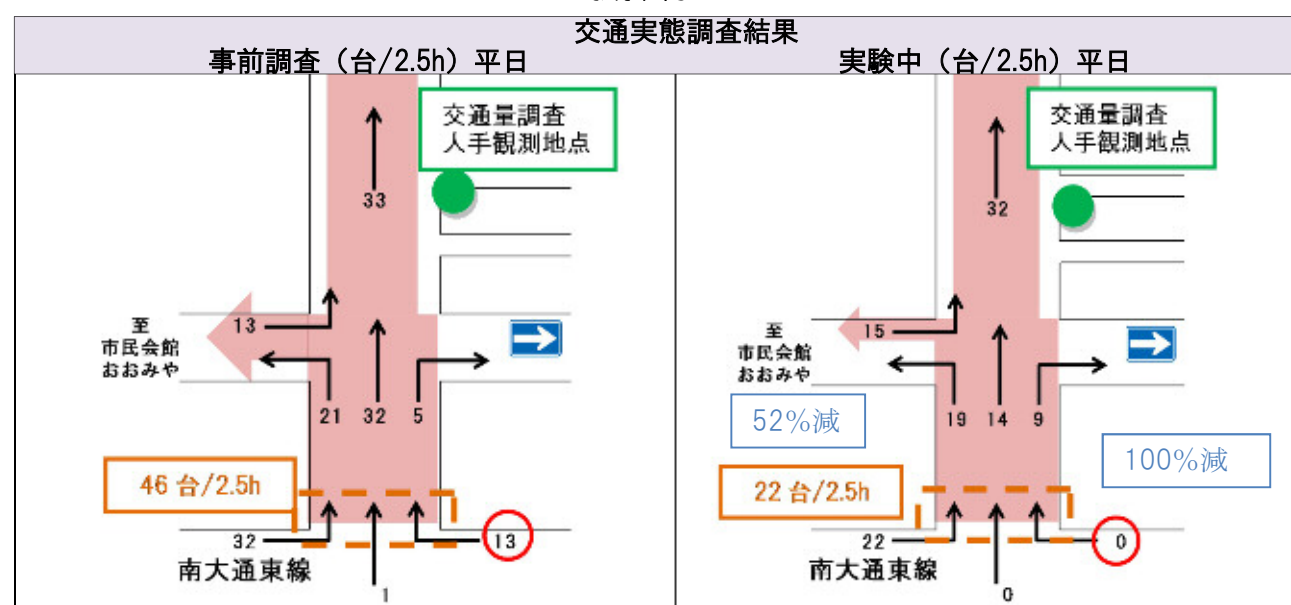
## 単路部の狭さく(a)について



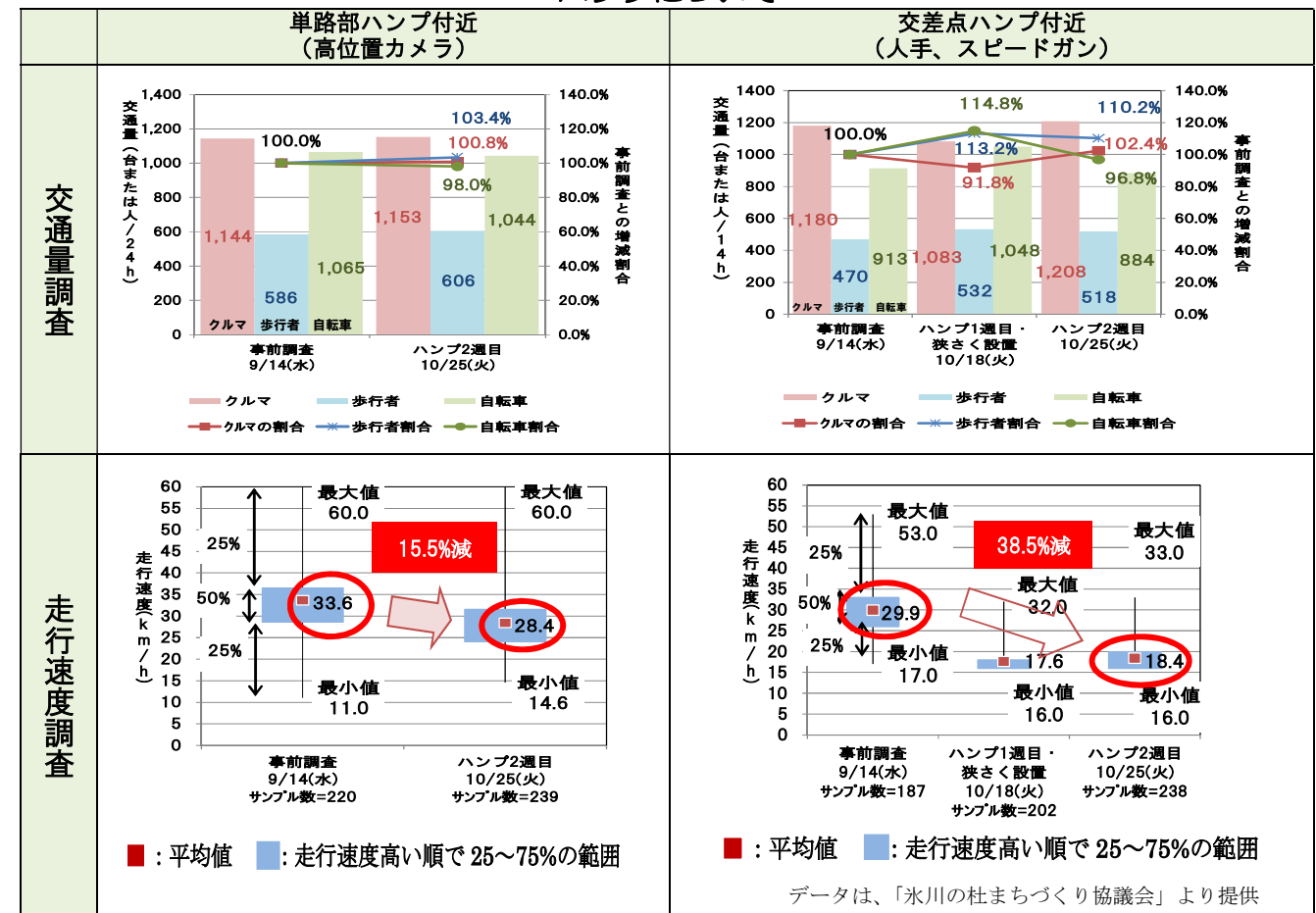
## 南大通東線と東側生活道路との接続部の狭さく(b)について



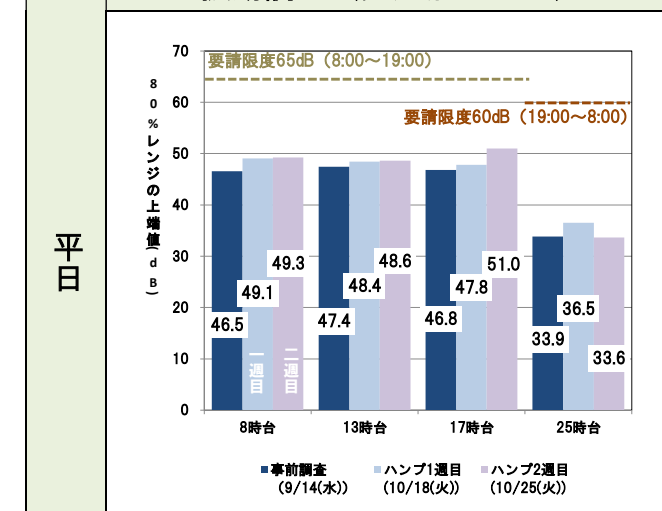
## 右折抑制について



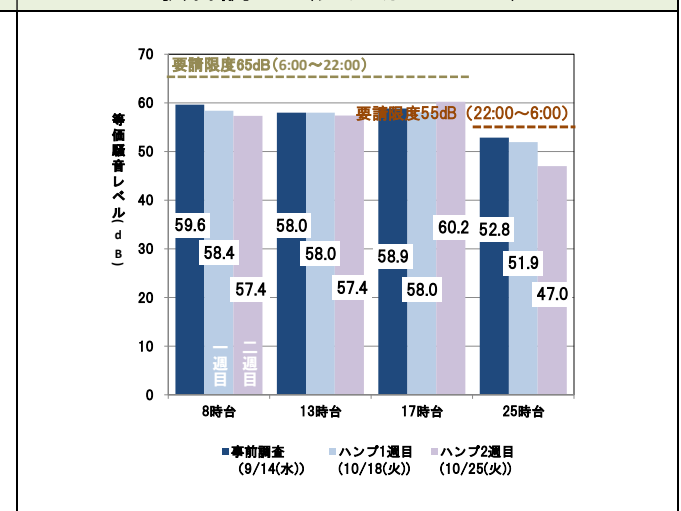
## ハンプについて



## 振動調査 (交差点ハンプ)



## 騒音調査 (交差点ハンプ)



※1 要請限度：市町村長が、埼玉県公安委員会に対し、道路交通法の規定による措置を執ることを要請することができる最低値。また、道路管理者又は関係行政機関の長に対し、騒音は、意見を述べることができ、振動は道路交通振動の防止のための舗装、維持又は修繕の措置を執ることを要請することができる最低値。

東町1丁目、浅間町1, 2丁目の実験対象の生活道路では、啓発看板、狭さく、ハンプについては、速度減少の効果があった。また、ハンプについては、振動・騒音が心配されるイメージがありますが、今回のハンプの実験では実験前と大きな差はありませんでした。右折抑制のポラード設置については、交通流入の抑制効果があった。

